

日刊建設工業新聞（2026年10月8日付14面掲載）

【オリコンサルグローバル 第9回ジャパコン国際賞・2 インド工科大学ハイデラバード校整備事業など】

（建設・開発プロジェクト部門：国道5号線改修工事中央工区コントラクトパッケージ2（プルサットープレイスベイ間）（カンボジア））

建設・開発プロジェクト部門

インド工科大学 ハイデラバード校整備事業

インドの名門校、国立工科大学（IIT）で10番目となるハイデラバード校の設計を支援した。国際会議場や中央図書館、国際交流会館、学生会館など計6棟を担当。地域の歴史や文化に深く関わり、国内外にアピールできる魅力的な建築をデザインした。

日本の建築デザインを単に海外へ展開したのではなく、気候風土への適応、長期的な維持管理、利用者を中心に据えた空間づくりなど、日本の設計思想を現地の文化や技術と融合させながら実現。現地技術者や施設運営者との継続的な協働を通じて設計・施工・維持管理のノウハウを共有し、日本の建築文化を「共創」の形で定着させた。

「大学キャンパスという知の基盤を舞台に、建築を通じて人材育成、技術交流、国際連携を促進し、日本の建築デザインの新たな海外展開モデルを提示している」（東京大学IITHキャンパス施設設計チームの川添善行氏）。

第9回ジャパコン国際賞から



学生会館の屋根は伝統的なベンガル
の屋根をヒントに、現代的なコンクリ
ートの折板構造で実現

- 工期＝2019年3月～24年3月
- 発注者＝インド工科大学
- 設計者＝東京大学IITHキャンパス施設設計チーム、日本設計、アブルデザインワークショップ
- 施工者＝Larsen & Toubro Construction
- 管理運営者＝インド工科大学

概要

国道5号線改修事業（全長366km）のうち、中央工区プルサットープレイスベイ間47kmの4車線化工事。地雷リスクの事前排除やICT施工管理、精緻な工程計画により品質・安全・工期を高度に両立し、全8工区で唯一、2カ月の工期短縮を達成した。

3層アスファルト舗装や交差点部にコンクリート舗装を採用。耐久性の向上や路面かさ上げ、排水機能の強化に



4車線になったNo.59橋梁

建設・開発プロジェクト部門

国道5号線改修工事中央工区 コントラクトパッケージ2 （プルサットープレイスベイ間）

よる洪水・気候変動対策を講じ、ライフ・サイクル・コストの低減と強靱な道路インフラを築いた。1400人の現地人材を育て女性活躍も推進。770万時間無事故を達成した。

「道路拡幅区間は、もともと軟弱な田んぼ地盤だったため、良質土への置き換え、盛り土を1層1層、1m1m確実に積み重ねる施工を、総延長94km（47km×2車線）にわたり継続した。さらに8橋梁、57カ所の横断排水工を限られた乾期に並行施工するため、厳格に工程を管理した」（大林組・神村英明氏）。

- 工期＝2019年4月～22年9月
- 発注者＝カンボジア公共事業運輸省
- 設計者＝片平エンジニアリング・インターナショナル、オリエンタルコンサルタンツグローバル
- 施工者＝大林組
- 管理運営者＝プルサット州公共事業運輸局、パタンバン州公共事業運輸局

概要